

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【1】先週の回顧

政局への影響が見込まれた、前回の大統領選挙でのルセフ前大統領およびテメル大統領陣営が違法献金を選挙に流用した疑いについて、選挙高等裁判所が裁判を延期することを発表したことで、政治への懸念は一旦後退しました。しかし、財政再建の中核案件である社会保障改革法案に関して、現地紙が下院議員の半数程度が反対していると報じたため、財政懸念が高まり、ブラジル金融資産は売られる局面もありました。

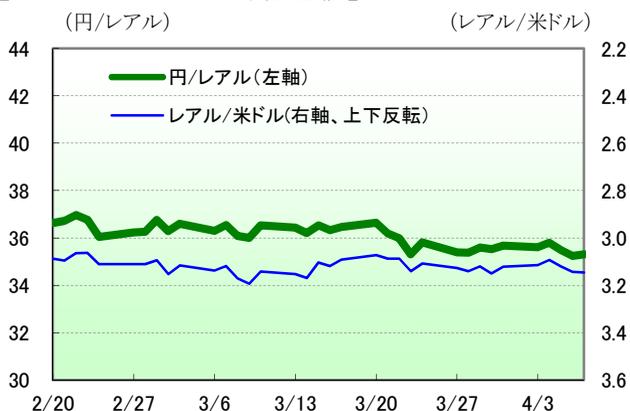
海外では、FOMC(米国連邦公開市場委員会)議事録が公表され、FRB(米国連邦準備制度理事会)が年内にもバランスシートの縮小を開始することが妥当と考えていることが明らかになったことや、米国のシリア攻撃などで、リスク回避姿勢の高まりから、レアルの売り圧力が強まりましたが、米国雇用統計が市場予想を下回ったことで早期の追加利上げ観測が後退したため、堅調な展開に転じました。

【2】今週の見通し

今週は、Copom(金融政策委員会)が開催され、政策金利が発表される予定です。インフレ率の低下が顕著なため、市場では大幅な利下げが予想されています。また、国内の経済指標は依然として弱含んでいるため、予想以上の利下げ幅や声明文次第では、金融緩和期待を強める可能性があります。

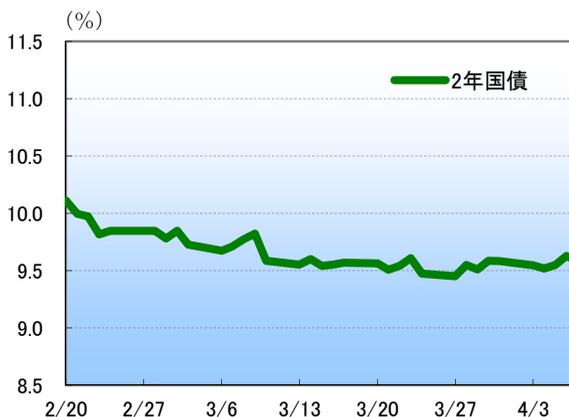
注目点となる社会保障改革などの緊縮策には各方面から反発も予想されますが、政権が財政健全化を着々と進め、海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジルへの投資活発化を通じてレアルが下支えされることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】 (2017年2月20日～2017年4月7日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】 (2017年2月20日～2017年4月7日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>